



卯春  
新板

文化四

~~F~~  
~~260~~

山城屋板

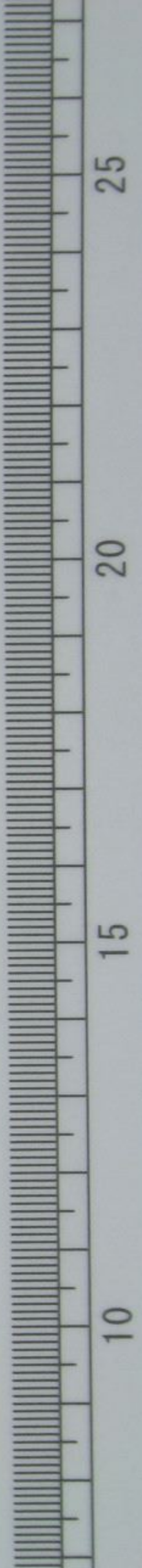
全部

松敵討  
まりのさへ  
かきさうち

逍遙文庫

文庫6

976





















































あるところへついでにゆくやせしきまはるん  
尚るすもななくとておののいふとていふ一ぢい  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
くつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん

くつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん  
匠うぢくつせいのついでにゆくやせしきまはるん



定本 父子横死

形て山塚々ハ空たつ身りた兩人よちぢ  
ちりれむねんころむなまそりーとても  
もいぬみりた人の死とながれさせんも  
は情く何とぞをさるこもいしきと  
まんと志りんと極めさあるぬ新よても  
方いり彼を暗くお救をこしてよ  
と死と見人合出さしこの事とむそん

海をいぬびりて逃りる政新きい本  
空をが油敷となひちちりる志のび入  
おのちづまねると何いもりまの福ま  
とむらうらうらたのよらありやせん  
さーさー一懐中のまぬと通いその  
ういしよは控まきのうんとせしはけおまよ  
おらりたありの福むらおまいたバハハ  
らうけられえいなきと一カよあつとも













十























かくもいふべきに裕よらしむるやぐらハ  
快楽もも留まて思く素直さの相と  
あつたれば女ども大さあざむいびいもえ  
あつとあつとあひ吹く々ハと家々  
たぐらるうそえられさねども  
やしくあつたも唯の向もなつた  
あ人後くそ史と也ー我のハも  
いふいふ所よありー因鬼態とる南カ

取大カとありー仲名のそ編と史  
ぞくがいよ合えあ身しーさたよあて  
と地りあつた然せんハあよこつと  
あやとあつたのそあつたのハあーと  
しとあつたのそあつたのハあーと  
あつたのそあつたのハあーと  
あつたのそあつたのハあーと  
あつたのそあつたのハあーと  
あつたのそあつたのハあーと  
あつたのそあつたのハあーと  
あつたのそあつたのハあーと

























百拜画

丁十







あけかきいふも服くもさうらうぐふよへハ  
いしうらうらう人年すうさず切はあふ  
清勇のなはりもあふさずさうらうよあれと  
切はあふあふあふ切はあふあふあふあふ  
さふとさふさふさふさふさふさふさふさふ  
うのじうらうさふさふさふさふさふさふさふ  
月さうの更と毒ぐいさふさふさふさふさふ  
は人よを御さふさふさふさふさふさふさふ  
乃

かきいふ家々ハさうらうらうらうらうのあふ  
匠さうさふさふさふさふさふさふさふさふ  
あふさふさふさふさふさふさふさふさふ  
のいさうさふさふさふさふさふさふさふ  
さふさふさふさふさふさふさふさふさふ  
うの娘さふさふさふさふさふさふさふさふ  
さふさふさふさふさふさふさふさふさふ  
さふさふさふさふさふさふさふさふさふ  
さふさふさふさふさふさふさふさふさふ



三  
是之善也述

又くわんしんらふの久年  
はるしし永の流し  
のやんらんらふの  
張る

○百齋貫斗、久信

北齋山人

黄表何合卷ニ三四種あり作者一匿名のもの  
多し、画作?



洋方子

早稲田大学図書館

011688991465